

# 令和5年度福島県環境創造シンポジウム企画運營業務 企画提案仕様書

## 1 委託業務名

令和5年度福島県環境創造シンポジウム企画運營業務

## 2 趣旨

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故から12年が経過し、福島県内における復興に向けた取組は新たな段階を迎えているが、廃炉作業の進捗や処理水の海洋放出による風評等、復興に向けた課題もいまだ残っている。一方、地球温暖化などの世界規模の環境問題も深刻化しており、県としても気候変動適応センターを立ち上げ、気候変動対策にもつながる情報収集・発信に取り組んでいるところである。

このため、福島県における原子力災害からの環境回復や再生可能エネルギーの推進などの環境創造に関し、様々な活動を行う教育機関や団体（以下「活動団体」という。）などの取組を紹介するとともに、活動団体間における交流を促すほか、著名人などによるパネルディスカッションを実施することにより県土の環境回復に関する課題や気候変動への対策を身近な問題として県民等に広く認識してもらい、自ら考え具体的に行動する意識の醸成を目的としたシンポジウム（以下「本シンポジウム」という。）を開催する。

## 3 契約期間

契約締結の日から令和6年3月29日まで

## 4 本シンポジウム概要

### (1) 開催日

以下の日程での開催を想定。

令和6年1月21日（日） 9:00～16:00

※開催日を変更する場合は、受注者と協議のうえ、あらためて日程を決定する。

### (2) 会場

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」（田村郡三春町深作10番2号）

### (3) 主催者

福島県環境創造センター

### (4) メインターゲット

中学生及び高校生

### (5) メインテーマ

本シンポジウムのメインテーマ及びその趣旨を企画提案に反映させること。

### 【メインテーマ】

『「イマ」から創る、「ミライ」のふくしま』

### 【趣旨】

出展者や参加者間の交流をきっかけに、原子力災害からの環境回復や再生可能エネルギーの推進等環境創造の視点から、気候変動をテーマとして、次代の福島のあり方についてそれぞれ考えてもらう。

### (6) 内容

#### ア パネルディスカッション

メインテーマの趣旨を踏まえてパネルディスカッション用のテーマを設定し、そのテーマに基づいたパネルディスカッションを行う。

#### イ 活動団体によるブース出展

県機関及び学校・研究所その他公的機関、民間団体によるパネル展示、体験プログラム等のブースを設置する。

#### ウ その他

本シンポジウムを効果的に開催するために必要な企画について、発注者と協議の上で実施する。

### (7) 目標来場者数

- ・ パネルディスカッション観覧者数 150人
- ・ コミュタン福島来館者数 1,500人

## 5 業務内容

受注者は、事業目的を踏まえ、以下の業務を実施すること。詳細は発注者、受注者双方の協議の上、定めるものとするが、独自提案（任意）があれば盛り込むこと。

### (1) 企画及び運営

#### ア シンポジウム全般

シンポジウムの企画立案、ブース出展者を含む関係者との調整、当日の運営等、シンポジウムの実施に関わる一連の業務を行うこと。

- ・ シンポジウム等に関する申込受付、問合せ窓口の設置、問合せ対応
- ・ 全体運営マニュアルを作成、適切な運営管理
- ・ 各種プログラムに係る連絡、調整
- ・ 会場レイアウトの作成
- ・ 各種プログラムの準備、設営、運営、撤去  
(必要設備、物品のデザイン、制作を含む)
- ・ シンポジウム運営に必要な人員の手配
- ・ 外注業者との契約（設営撤去、特設HP、など）
- ・ 当該シンポジウムの出演者の手配、各種連絡調整、謝金等の支払い

- ・ 当該シンポジウムの資料のとりまとめ、印刷、配布
- ・ 展示、体験物の設置
- ・ 4（6）アについて来場者数の集計
- ・ 当日の写真記録等の作成
- ・ シンポジウム開催後のアンケートの実施及び集計結果の報告
- ・ 環境創造センターHPに掲載可能なコンテンツデータの作成
- ・ その他発注者が必要と認めるもの

イ その他

- ・ シンポジウムの企画立案等に当たっては、参加者の学びや気づきを促進するような仕掛けを検討すること。
- ・ シンポジウムの運営に当たっては、安全管理・衛生管理に注意し、必要に応じて、専任のスタッフを配置すること。
- ・ シンポジウム開催にあたり必要となる許諾等に関する申請書類の作成、提出等の業務を行うこと。

(2) 情報発信

本シンポジウムについて、より多くの参加者を確保するため、県内学校及び公共施設へのチラシ配布や、SNS等様々な広報媒体を活用した周知など、効果的な広報活動を実施すること。

また、本シンポジウムの実施結果についても、同様に情報発信を行う。

## 6 提案内容

受注者は上記2～5を踏まえ、以下の項目について提案し、発注者と協議の上実施する。

(1) シンポジウムの名称

企画提案内容によるものを仮称として、最終的な名称は、受注者からの提案を元に協議の上、発注者が決定する。

(2) 周知方法

4（4）に記載したメインターゲットに対する本シンポジウムへの来館促進のための開催周知方法について、実施内容、広報範囲（エリア）、実施効果等を具体的に提案すること。また、本シンポジウムの実施結果の情報発信方法について、実施内容及び実施効果等を具体的に提案すること。

(3) パネルディスカッション

ア テーマ

4（5）に記載した本シンポジウムのメインテーマを踏まえ、パネルディスカッションのテーマを提案すること。

イ ファシリテーター及びパネリスト

本シンポジウムの趣旨を踏まえ、本業務をより効果的に実施でき、かつ、より多くの集客を見込めるファシリテーター及びパネリストを提案すること。ただし、パネリストについては必ず環境創造センターが実施している各種人材育成プログラムの受講者・修了生等（以下、「人材育成受講者」という）を最低1名は活用すること。（各種人材育成プログラムの詳細については説明会時に別途提示する。また、人材育成受講者の提案の際には「講座名＋人数」という形での提案とする。）

#### ウ 内容

開催目的をより効果的に達成できる進行方法について提案すること。併せて、パネルディスカッション聴講者の具体的な環境行動に結びつくような仕掛けを提案すること。

#### エ その他

パネルディスカッション聴講者数及び滞在時間を増やすような仕掛けを提案すること。

### (4) 活動団体ブース出展

#### ア 出展募集

ブース出展の募集方法及び想定する出展数を提案すること。（過去に開催した福島県環境創造シンポジウムにおいてブースを出展した団体についての詳細は説明会時に提示する。）

#### イ 出展方法

活動団体の取組内容をより効果的に参加者へ紹介することができ、かつ、活動団体と参加者や活動団体間の効果的なコミュニケーションを促進するため、体験プログラム等を交えたブース出展の方法を提案すること。

### (5) 実施スケジュール

本業務の実施スケジュールを提案すること。

### (6) その他

(1) から (5) の提案事項の他、開催目的をより効果的に達成できる企画があれば提案すること。

## 7 業務実施体制

(1) 本事業に関わる責任者及び担当者については、事業開始前に書面にて報告すること。

なお、本事業の趣旨、内容を十分に理解し、かつ、業務遂行に必要な知識・能力・経験を有する要員を配置すること。

(2) 本業務の企画運営スケジュールの管理を適切に行うこと。

(3) 発注者と随時打合せを重ね、無理のないスケジュールで進めることができるよう努めること。

(4) 本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた時は、双方協議の上、決定するものとする。

ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。

## 8 著作権

(1) 委託事業の実施に伴う成果品等の著作権の権利は、原則、発注者側に帰属するものとする。また、受託者は成果品等について、発注者及び発注者が指定する第三者に対して著作権人格権を行使しないこととする。

(2) 印刷物・映像等に使用される素材等について、他者の著作権その他権利が及ぶものを使用する際は、権利者より事前に二次使用を含めた使用の許諾及び事後において権利の主張を行わない旨の許諾を得るものとする。

## 9 提出書類

(1) 業務着手届（様式第1号）

※工程表、責任者・担当者一覧を添付すること。

(2) 成果品等

ア 業務完了届（様式第2号）

イ 業務報告書

ウ 製作物及び関係するデータ

PDF形式又はJPEG形式データをDVDで納品するほか、見本品を複数納品すること。

(3) 提出先

福島県環境創造センター

## 10 その他

(1) 業務の実施に必要となる経費（会場費、機材費、材料費、旅費・謝金、資料作成費、郵送料、印刷費、保険料等）は契約金額に含まれるものとし、発注者は契約金額以外の費用を負担しない。

(2) コミュタン福島を使用する際の会場費は無料とする。

(3) 必要な資料及び情報の収集等は業務に含まれる。

(4) 業務に係る記録については、HPや報告書等で外部公表する可能性があるため、関係者から事前に了承を得ておくこと。

(5) 業務の実施に当たり、知り得た内容を第三者に漏らしてはならない。

様式第1号

年 月 日

福島県環境創造センター所長

受注者 住 所  
名 称  
代表者 印

業務着手届

年 月 日付けで契約を締結した下記委託業務について着手したので、届け出ます。

記

1 委託業務の名称

令和5年度福島県環境創造シンポジウム企画運営業務

2 契約金額

円

(うち、取引にかかる消費税及び地方消費税額 円)

3 委託の期間

着 手： 年 月 日

履行期限： 年 月 日

4 着手年月日

年 月 日

様式第2号

年 月 日

福島県環境創造センター所長

受注者 住 所  
名 称  
代表者 印

業務完了届

年 月 日付けで委託契約を締結した業務について、下記のとおり完了したので、成果品を添えて報告します。

記

1 委託業務の名称  
令和5年度福島県環境創造シンポジウム企画運営業務

2 契約金額

円

(うち、取引にかかる消費税及び地方消費税額 円)

3 委託業務の着手及び完了年月日

着手： 年 月 日

完了： 年 月 日

4 成果品等

報告書、制作物及び記録データ等 (別添のとおり)